

ちば野菊の里浄水場が生まれ変わります!



ちば野菊の里浄水場のあらし

ちば野菊の里浄水場は千葉県と東京都との都県境である利根川水系江戸川に隣接し、松戸市・市川市・船橋市の一部に給水を行っています。同浄水場は当局で最も新しい浄水場（施設能力60,000m³/日）で、県営水道事業創設期の昭和15年から稼働していた古ヶ崎浄水場に代わる施設として、平成14年から建設工事に着手し、平成19年に完成しました。（第1期整備事業）

現在、隣接する栗山浄水場が昭和33年の稼働から約60年経過し、老朽化が著しいため、栗山浄水場の浄水機能（施設能力186,000m³/日）をちば野菊の里浄水場に移転します。（第2期整備事業）

第2期整備事業においても、浄水機能の移転に併せて高度浄水処理を導入することで、より安全でおいしい水の安定供給を図ります。

施設完成後は給水区北西部エリアの中核となる施設能力246,000m³/日の浄水場に生まれ変わります。

ちば野菊の里浄水場建設の経過

- 平成5年度 事業認可取得（ちば21新水道計画）
- 平成6～8年度 松戸市下矢切・栗山に取水場・浄水場用地として11.2haを新規取得（既存の敷地を含めて12.5haの用地を確保）
- 平成14年度 第1期建設工事に着手
- 平成19年度 第1期施設完成（建設事業費約318億円）
- 平成28年度 第2期建設工事に着手

ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備事業



1 概要

- 建設場所：松戸市栗山478-1
ちば野菊の里浄水場内
- 敷地面積：4.9ha（1期・2期合計9.1ha）
- 施設能力：186,000m³/日
（1期・2期合計246,000m³/日）
- 水源：利根川水系江戸川
- 給水区域：松戸市・市川市・船橋市の一部
- 事業費：約446億円
- 給水開始年度：平成35年度を予定

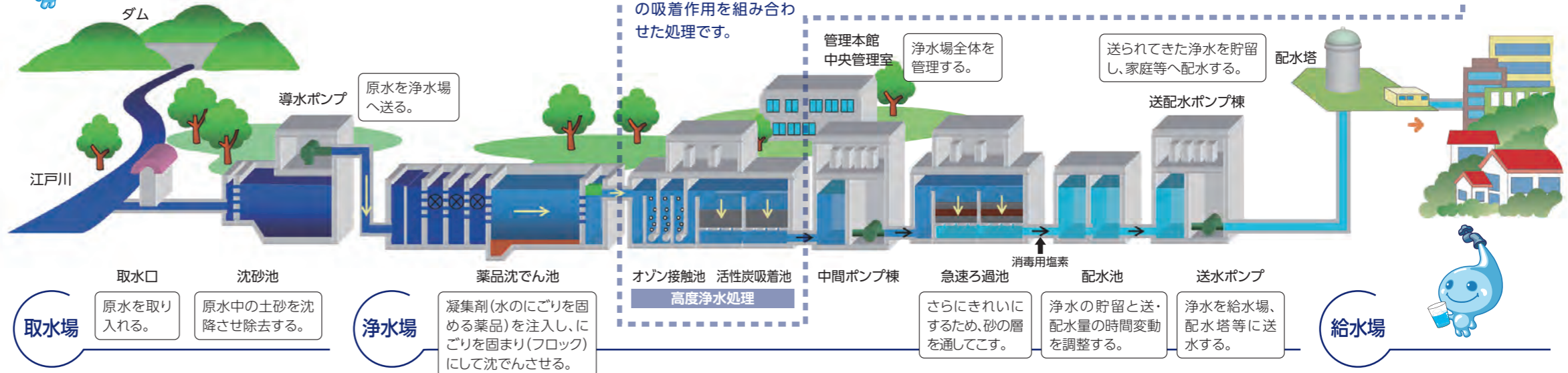


3 施設整備の特長

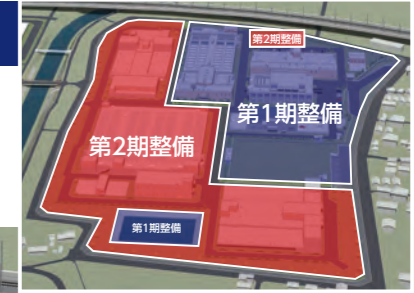
- 安全な水の供給**
安全でおいしい水を供給するため、高度浄水処理を導入します。
- 強靱な水道の構築**
震災時においても安定した水処理が行えるよう、施設の耐震化を図ります。また、危機管理対策の強化として、開口部に覆蓋を設置します。
- 緊急時対策の推進**
施設・設備の2系列化、2回線受電方式を採用し、浄水処理の安定化を図ります。
- 環境対策**
環境に配慮したクリーンエネルギーを導入します。



4 浄水処理フロー図



2 施設完成予想図



高度浄水処理とは？

通常の凝集沈でん、ろ過の浄水処理では取りきれないにおいなどに対処するために行う、オゾンの酸化作用と活性炭の吸着作用を組み合わせた処理です。

オゾン発生器

オゾン発生器からオゾンが生成され、オゾン散気装置から細かい泡となって水中に放出され、臭気物質やトリハロメタン等の原因物質である有機物を分解します。

活性炭吸着池構造図

活性炭吸着池は、オゾンで酸化分解された物質やオゾンでは分解しきれなかった臭気物質などを粒状活性炭の吸着作用や生物の分解作用により除去します。

